

2011 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 OKAYAMA GT 300km RACE

2011年5月21日(土)~5月22日(日)

決勝 レポート

68 Laps



場所:岡山国際サーキット / 天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:29℃ / 観客動員数:15,000人

東日本大震災の影響で延期となっていた2011 SUPER GT 第1戦の決勝が岡山国際サーキットで行なわれた。早朝から強い雨が降り続き、午前中のフリー走行は残念ながら中止となった。

5月22日(日)

<決勝 / 午後2時~>

朝の大雨から天気は回復し、午前中には雨も上がり曇り空となった。決勝は山野がスタートを受け持ち、13位でメインストレートに戻ってくる。タイムは1分36秒中盤、まずまずである。その後、安定した走りで11番まで順位を上げ30周目ピットイン、佐々木に代わる。佐々木は持ち前のガッツでラップを刻み41周目9位、46周目8位と順位を上げていく。終盤7位の車両に近づいたところで、後続車両にあてられスピン、すぐにコースに戻れたが、結果8位でフィニッシュした。なお、500クラスの優勝は#12 カルソニック IMPAL GT-R、300

クラスは#66 triple a Vantage GT2 が制した。



www.rdsport.net

■本島監督コメント



今日もドライバーに頼りきりのレースでした。本当に二人とも頑張ってくれました。決して車にとって得意ではない岡山で結果8位という事は自信になりましたが、課題は山の様にあります。次戦のマレーシア船積みまで1週間も無いのですが、出来る限りの対策をして送り出したいと思えます。

■山野 哲也 コメント



コンパクトな岡山国際サーキットでは、ロングホイールベースのレガシィにとって厳しい一戦になることは想定できていました。その中でも、予選では国産マシンではトップの13番手を獲得。レースペースも上位陣と比較して1秒落ちくらいで走行でき、2010年度よりもレベルアップしたと言えます。決勝結果も8位と、考えうる中でベストリザルトだったと思います。ターンイン性能を向上させることができればさらにラップタイムを短縮することができるでしょう。次のセパンサーキットは個人的に最も成績のよいサーキットです。表彰台を目指したいです。

■佐々木 孝太 コメント



もっとも苦手であろう岡山で8位入賞ができたことは、今年 LEGACY B4 の進化を感じ取れました。次のセパンは高速コーナーが多く、逆に LEGACY にとっては期待できるサーキットです。個人的にも大好きなサーキットですし、今年2勝宣言をした1勝目はマレーシアだと思っています。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年5月22日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net